

# 昨今の教育課題について学習を深める

2024/06/14 岡谷鋼機名古屋公会堂

## 愛教組連合拡大学習会

6月14日、組合員約200人の参加のもと、愛教組連合拡大学習会が開催されました。一般社団法人ライフ&ワーク代表理事の妹尾昌俊さんに「働きがいがあり、かつ、働きやすい学校づくり」という演題でご講演をいただきました。

### 講演会

演題：「働きがいがあり、かつ、働きやすい学校づくり」

～一人ひとりができること、学校ができること、行政が進めること～

講師：妹尾 昌俊さん（一般社団法人ライフ&ワーク代表理事）



#### ○ 教員の健康障害リスクについて

睡眠不足の教員は多く、健康障害リスクを抱えながら働いている。「時間外在校等時間が月80時間を超えなければ大丈夫」ではなく、月45時間でも危険である。

#### ○ 働き方改革について

働き方改革は目的ではなく手段の一つ。「時間外在校等時間を短くしよう」という取り組みは、働き方改革（時短）が目的化していき、「休日の部活指導は出勤記録をつけない」など、間違ったことが起きる原因になる。

行事や部活動については、子どもたちのためにと考えてやっていることが子どもたちの疲弊につながる場合もある。教員と子ども双方の負担軽減を考えて、見直しにおけた議論をしていくことが大切である。

#### ○ 授業準備について

生徒指導、保護者対応などがあると、授業準備の優先順位が最後になりがちだが、頭がリフレッシュに働くうちに授業準備ができることが理想である。そのためには、教員の授業準備時間と学ぶ時間

を勤務時間の中に入れられるような体制づくりを行政がすべきである。

○ 時間の使い方について

1日の時間の使い方のワークログをとって時間の使い方のリフレクションをしてみるとよい。校内研修でお互いのワークログについて話し合う機会を設けることも効果的である。

### 参加者の声

---

- ・「教員の現状を保護者に伝えて、理解者を増やす」という視点はなかったので、今後の取り組みの参考にしたい。
- ・なぜ、働き方改革が必要なのかという問いに対する答えが、「忙しいと（本、旅、人から）学ぶことができない」というものであり、とても共感できた。
- ・今後、日頃の業務内容や行事のあり方などを「本当に子どもたちのためになっているか」「子どもたちの負担になっていないか」という視点で見直してみようと思った。